

SBT認証取得の ご案内



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2022年11月にSBTイニシアティブの温室効果ガス削減目標の認定を取得しました。今後も事業活動における温室効果ガスの把握と削減に取り組むことで、「カーボンニュートラル」「脱炭素」「気候変動対策」に貢献し持続可能な社会の構築に努めていきます。

MAY-YOU
メイユー株式会社

X



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

排出量算定について:GHGプロトコル整合表

算定の目的	気候変動への取り組みにおけるリーダーシップ 今後予想される取引先対応
内容	GHGプロトコル企業基準に準拠した排出量把握
組織境界の設定	■メイユー(株) 国内5拠点： (本社、安城工場、前野倉庫、城ヶ入C棟、城ヶ入D棟)
対象組織の範囲	対象組織のすべての拠点
対象とするGHG	CO2 (二酸化炭素) CH4 (メタン) N2O (一酸化二窒素) HFC (代替フロン) PFC (パーフルオロカーボン) SF6 (六フッ化硫黄) NF3 (三フッ化窒素)
時間的範囲	2020、2019、2018の3年度
運営境界の設定	Scope1(直接的GHG排出)、Scope2(間接的排出)を対象
削減目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SBTイニシアチブ削減目標認定(SMEs,Near-term SBT) ・総量削減手法のうちScope1.2のみを対象にした削減目標

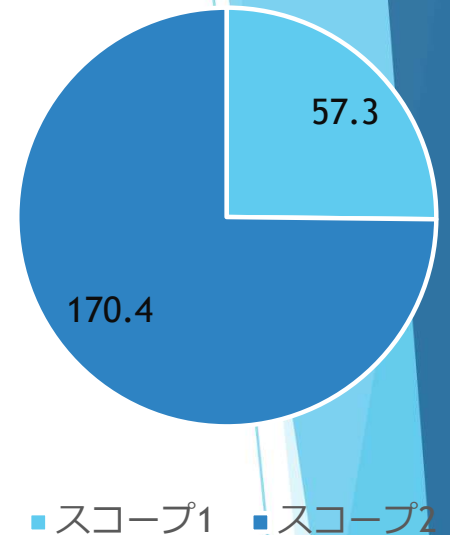
【認定された温室効果ガス削減目標】

対象項目	削減目標
Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出	2019年度を基準に、2030年までに 46.2%削減する
Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接 排出	
Scope3: Scope2以外の間接排出	排出量を把握し、削減することを約束する

排出量算定報告【当社】

運営境界	事業所名	排出源	排出量 (t-CO2e)	排出割合 (%)
スコープ1	本社	ガソリン	39.6	17.4%
		軽油	17.7	7.8%
	合計		57.3	25.2%
スコープ2	本社	電力	168.0	73.8%
	安城工場	電力	1.9	0.8%
	前野倉庫	電力	0.1	0%
	城ヶ入C棟	電力	0.3	0.2%
	城ヶ入D棟	電力	0.1	0%
	合計		170.4	74.8%
スコープ1+2			227.7	100%

2019年度 排出量



削減目標について

May You Corporation Japan, Asia	1.5°C	-	-	Small or Medium Enterprise	VIEW LESS ^
Date published/updated 2022	Target summary Near term: 1.5°C by 2030	Target This target was approved using a streamlined target validation route exclusive to small and medium-sized enterprises (SMEs). https://sciencebasedtargets.org/faqs-for-smes/ May You Corporation commits to reduce scope 1 and scope 2 GHG emissions 46% by 2030 from a 2019 base year, and to measure and reduce its scope 3 emissions.			
Sector Solid Waste Management Utilities					

1.5 degree scenario (1.5C)

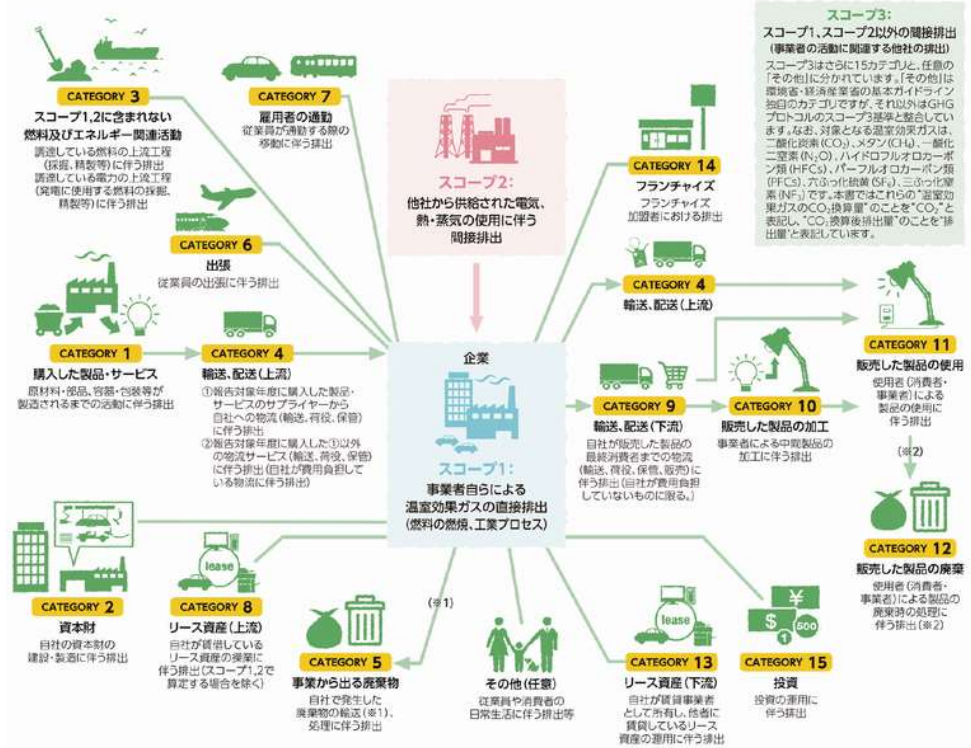
[Review all target modelling data](#)

	Base year (2019)	Target year (2030)	% Reduction
Scope 1 emissions (tCO2e)	57	31	46.2%
Scope 2 emissions (tCO2e)	170	92	46.2%
Scope 1+2 emissions (tCO2e)	228	123	46.2%

	基準年 2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	目標年 2030
S1	57.3	54.9	52.5	50.1	47.7	45.3	42.9	40.5	38.0	35.6	33.2	30.8
S2	170.4	163.2	156.1	148.9	141.8	134.6	127.5	120.3	113.1	106.0	98.8	91.7
S1+2	227.7	218.1	208.6	199.0	189.4	179.9	170.3	160.8	151.2	141.6	132.1	122.5
削減率		4.2%	8.4%	12.6%	16.8%	21.0%	25.2%	29.4%	33.6%	37.8%	42.0%	46.2%
実績		170.4										

サプライヤーとして

SCOPE 1	直接的排出
SCOPE 2	エネルギー起源の間接排出
SCOPE 3	
カテゴリー1	購入した製品・サービス
カテゴリー2	資本財
カテゴリー3	エネルギー関連活動
カテゴリー4	輸送・配送（上流）
カテゴリー5	事業から出る廃棄物
カテゴリー6	従業員の出張
カテゴリー7	雇用者の通勤
カテゴリー8	リース資産（上流）
カテゴリー9	輸送・配送（下流）
カテゴリー10	販売した製品の加工
カテゴリー11	販売した製品の使用
カテゴリー12	販売した製品の廃棄
カテゴリー13	リース資産（下流）
カテゴリー14	フランチャイズ
カテゴリー15	投資



出典：「サプライチェーン排出量算定の考え方」（環境省）

排出量算定をすることで 再生資源回収・加工処理

取引先
・サプライチェーンのより上流の企業
→気候変動情報開示を行い、
CO2排出量削減に取り組んでいる

SBT非認証社：排出量把握をしていない

メイユー(株)：排出量把握をしている

一律 **3.49** t-CO2/百万円

0.75 t-CO2/百万円

出典：環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(Ver.3.2)」
「産業連関表ベースの排出原単位」再生資源回収・加工処理
277-392101 ©金額ベースの排出原単位 生産者価格ベース

参考データ：メイユー(株) 2020年

排出量を算定し、
売上あたり排出量を
算出